

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市日の出町1丁目計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	神奈川県横須賀市日の出町1丁目4番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	600人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年12月1日
敷地面積	3,155㎡	作成者	株式会社IAO竹田設計 東京第二事務所 中筋 拓
建築面積	1,735㎡	確認日	2021年12月1日
延床面積	14,117㎡	確認者	株式会社IAO竹田設計 東京第二事務所 中筋 拓



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	横須賀中央駅から10分程度の敷地であり、また市役所や学校も近く生活利便性の良い敷地となっている。横須賀の海のイメージをモチーフにしたデザインを取り入れ、親しみやすくかつ横須賀の風景に寄り添うデザインの計画とした。建物ヴォリュームを3棟に分けることで、圧迫感を低減した。歩道沿いにヴォリュームのある緑量を計画することでまちなみ安らぎの場を作った。	その他 特になし
Q1 室内環境	専有部分について、T-2サッシを採用し、断熱等性能等級4としている。また、F★★★★の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4、建物全体のBEI=0.91としている。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率80%とし、光害抑制にも配慮を行っている。
Q2 サービス性能	住宅性能評価における劣化対策等級3とし、階高や居室天井高さを十分に確保するなど、建物のサービス性能の向上に努めている。	
LR2 資源・マテリアル	LGS下地を採用し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される